

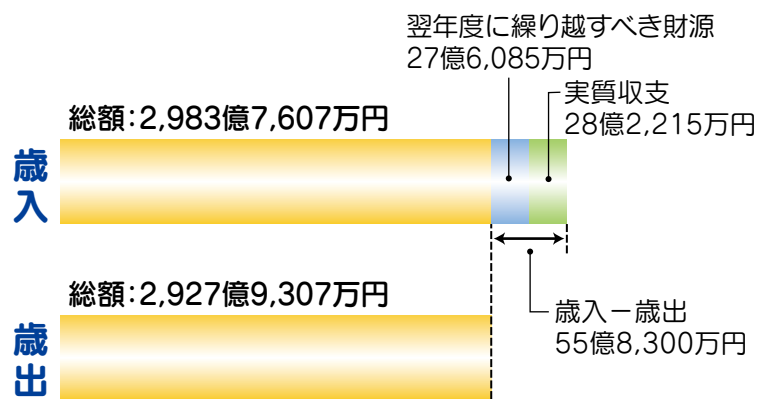
# 平成26年度 熊本市の決算状況

平成26年度一般会計の決算収支の状況は、歳入総額2,984億円に対し、歳出総額2,928億円となり、いずれも昨年度を上回り、過去最高額となりました。  
また、歳入、歳出の差引額56億円から翌年度へ繰越すべき財源28億円を除いた実質的な収支は28億円の黒字となりました。

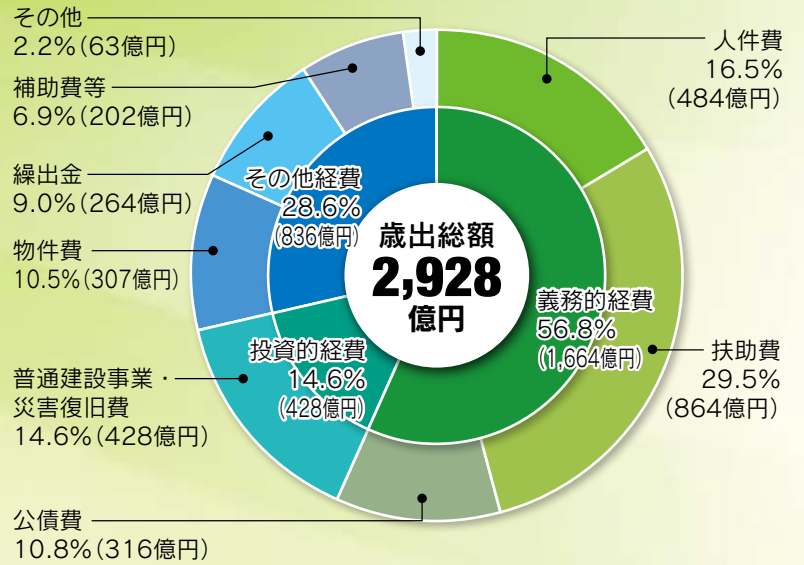
本市の平成26年度決算が確定しました。決算とは本市が1年間のあいだにいくら収入(歳入)があつて、いくら支出(歳出)したかの実績をまとめたものです。

市の会計は「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」に分類されます。ここでは、主に市の一般的な事業に関する会計である「一般会計」の決算状況を中心に紹介していきます。

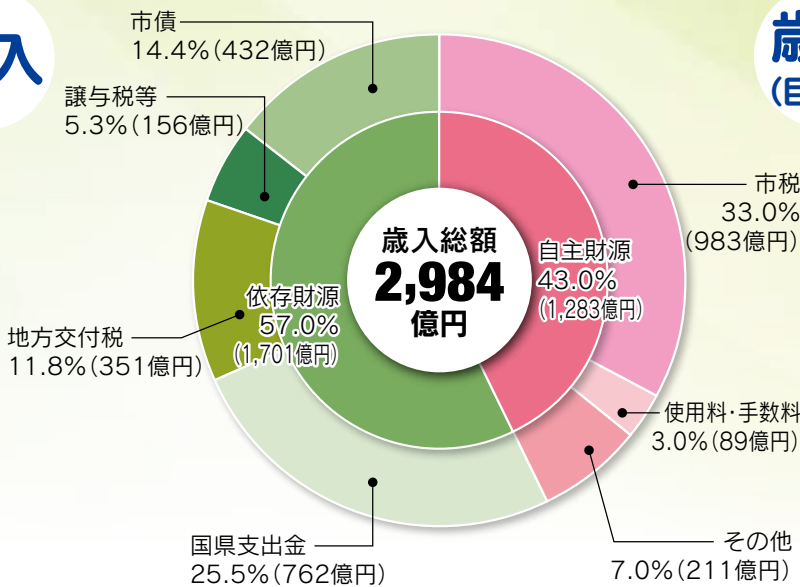
## 一般会計の収支状況



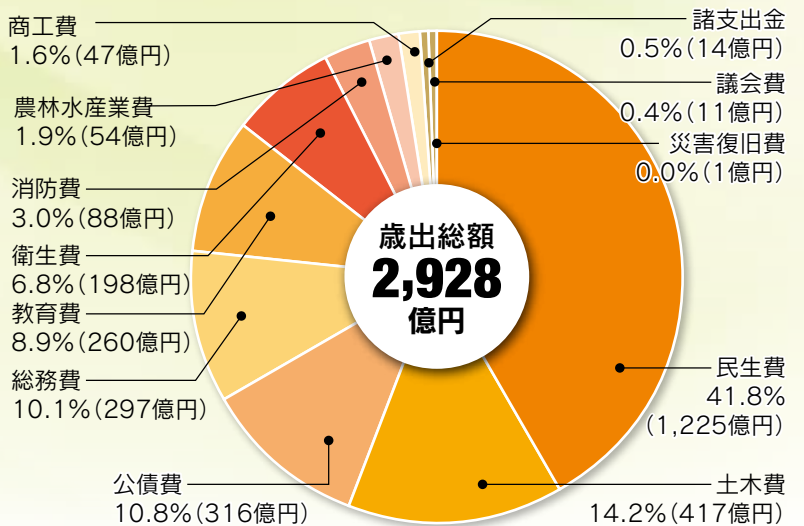
## 歳出 (性質別)



## 歳入



## 歳出 (目的別)



## 本市の決算状況を家計簿に置き換えてみよう

「本市の決算で何千億円つかいました」、といつてもなかなかピンとこないと思います。

そこで、本市の一般会計の決算を、ある家庭の収入支出(家計簿)に置き換えてみました。このように見ると、市の収入支出の状況が少しは分かりやすいと思います。

### 熊本市の一般会計(決算)

(収入)	
市税・地方交付税・譲与税など	1,490億円
国・県支出金	762億円
市債	432億円
その他	303億円
合計(A)	2,984億円

(支出)	
人件費	484億円
扶助費	864億円
公債費	316億円
投資的経費	428億円
物件費・補助費等	572億円
繰出金	264億円
合計(B)	2,928億円

(収入)	
黒字(A)-(B)=(C)	56億円
来年度への繰越(D)	28億円
実質的な黒字(C)-(D)=(E)	28億円

### 年収300万円の家計簿に置き換えると...

(収入)	
給料(基本給)	150万円
諸手当(扶養手当など)	77万円
金融機関からのローン借入	43万円
パート収入、家財の売却による収入	30万円
合計(A)	300万円

(支出)	
食費	49万円
医療費	87万円
住宅ローンの返済	32万円
家の修理費や家具などの購入	43万円
光熱水費や日用品など	57万円
親や子どもへの仕送り	27万円
合計(B)	294万円

(収入)	
黒字(A)-(B)=(C)	6万円
来年度への繰越(D)	3万円
実質的な黒字(C)-(D)=(E)	3万円

## 平成26年度に取り組んだ主な事業

### 南消防署の整備

安全安心なまちづくりの拠点となる消防署について、1区1署体制を目指して、新たに南消防署の整備を行いました。



### 全国型ICカード利用環境の整備

民間バス会社などの全国型ICカード利用環境の整備に要する経費に対して助成を行いました。



### 街なか子育て広場の整備

中心市街地(現代美術館内)に、子育て中の親子のためのつどいの広場を整備しました。



### 城南スポーツセンターの整備

新市基本計画に基づき、城南町に、スポーツ拠点施設を整備しました。

